

大池公園さくら再生ワークショップニュース No.3

第3回ワークショップ 2021/3/27 (土) AM9:30~12:00
『大池公園のさくらの開花状況を観察し再生計画について考える』参加 15名

第3回ワークショップでは、公園内のさくらの今年の開花状況を樹木医さんの説明を受けながら観察し、意見交換を行いました。

会議室ではこれまで2回目のワークショップで出された意見を基に『大池公園のさくらの再生計画』について意見交換を行い、東海市さんが今後行うソメイヨシノの長寿命化に向けた更新計画と、今後の公園のさくらの魅力づくりの具体策を考え、最後に、東海市さんから令和3年度のワークショップについて他の説明をお聞きしました。

今年度ワークショップにご参加の皆さん、本当にありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

参加者：応募市民、樹木医、事務局、東海市、地域ニュース社

令和2年度ワークショップスケジュール

第1回ワークショップ【11月28日(土)】

『大池公園のさくらを診(み)て、学び、考える』

- ・さくら現況調査及びアンケート結果の説明
- ・樹木医とさくらを診みて歩く(生育状況、環境)
- ・さくらを守る技術を学ぶ(診断と手入れ<施肥・剪定>)
- ・参加者の意見交換~大池公園のさくらの将来像について考える

済

第2回ワークショップ【2021年1月30日(土)】

『大池公園のさくらの将来像について区域ごとに考える』

- ・大池公園の気になるところ、ダメなところ、こんなことがしたい
- ・意見交換に基づく現地散策~課題の再発見~
- ・さくらを守る技術を学ぶ(支障木の剪定)

済

第3回ワークショップ【2021年3月27日(土)】

『大池公園のさくらの開花状況を観察、再生計画について考える』

- ・樹木医とさくらの開花を診(み)て歩き、状況について意見交換
- ・さくらの再生計画(区域、内容、方法)についての意見交換
- ・令和2年度ワークショップまとめと令和3年度の取組

済

第3回ワークショップ参加者



□大池公園(東海市中央町三丁目、面積約24.8ha)は1973年(昭和48年)に緩衝緑地として開園。さくらの名所として毎年春にはソメイヨシノが咲き誇り、最近ではライトアップも行われ花見の名所となっていますが、開園後約50年が経過し、ソメイヨシノの老木化が目立ってきました。

□『大池公園さくら再生ワークショップ(50年後に引き継ぐ大池公園のさくら)』では、このソメイヨシノをこの先も楽しめるように維持し次世代に引き継いでいくとともに、大池公園にさくらの名所としての魅力を付加し、再生させることを目指しています。

□令和2年度、ソメイヨシノの手入れや再生の計画づくりを行っていく市民ワークショップを3回行いました。ワークショップは維持管理作業にも目を向け、令和3年度も実施予定ですので何卒ご参加をお願いいたします。



ワークショップ会場

さくらの開花状況

さくらのライトアップ

花の数でさくらの元気度を知る

⇒花数が多いと元気

花のがく(萼筒:がくとう)で品種を見分ける

⇒花の咲くこの時期に正しく見分けられる

老木化した大木の保護(風害等の対策)

⇒幹や太枝に支柱を設置し支持する

ワークショップ問合先
東海市都市建設部花と緑の推進課〒476-8601 東海市中央町一丁目 | 番地 ☎ : 052-603-2211 | Email : midori@city.tokai.lg.jp

基本計画(大池公園さくらの更新と魅力付加)(案)の検討

基本計画(案)についての参加者意見(Nは選択された更新・魅力付加計画)

1 3 10 公園東西間を回遊する人のため園路沿いのさくらの魅力付加
 ・児童園と芝生広場の間の5本のさくらを大切にしたい
 ・樹木医さんの活躍をYouTubeで見たが、大池公園のさくらへは想像以上に取り組まれている

1 4 8 散策コース沿いにさくらを見る人は多いのでコース沿いにさくらを繋げ魅力付加
 ・ライトアップも良いので2や4でも魅力付加を
 ・元気がなくなったさくらをどうしていくか⇒専門家・作業する人の知識・技術が必要
 ・8は芝生地で植栽スペースも余裕ある

観光資源の観点からは特に4 2を思い切って。今は1を歩くか7 9を選ぶ
 ・9展望の丘を新スポットとしてはどうか眺めが良いし、農業センターからのアクセスも可能。
 ・隠れたスポットとして7配布資料「基本計画図案」の左下イメージ写真のようになる水面反射を感じられるポイントでもある

2 5 8 昨日、京都疎水、哲学の道のさくらを診たが見せ方がうまい、また鞍馬山山頂にさくらの大木がある、登頂するのに1時間半かかるがその間周りに何も無い、並木もいいがシンボルツリーとなる独立木もあり得る、桜吹雪もきれい
 ・公園出入口の8ここでこの公園はサクラを大切にしているとアピールして欲しい
 ・展望台やいろんなところに1品種を並べる(1ルート)



1 3 4 3 4 は東京の千ヶ淵のようだから
 ・大池公園のさくらは初めて見る
 ・競合しているところは悲惨、雑木の整理が必要か

大池公園のさくらは若い時に観た圧倒的なイメージがあるが、今日歩いて残念な姿になっている(ツタが絡んだり周りの木が桜を痛めている)
 ・老木を整理して新植するのが良い 1 3 4
 ・他の木が目立ちさくらの存在価値が減少

10 花見以外の長い時期も考慮し、枯死後在来野生種に少しずつ置き換えていくのが良いのでは
 ・開花時期も変わるし、品種の知識に興味を持つこともできるし、混雑も回避できる
 ・花見、観光以外のさくらの価値を見出す
 ・さくら染め、さくらチップ、文学等花以外の価値も
 ・西行法師「願はくは花の下にて春死なむそのきさらぎの望月のころ」(願うことなら、旧暦2月15日の満月の頃、満開の桜の下で死のう)
 ・公園外周のさくらもつながりを持たせたい

参加者から多く意見が出たまず手掛ける更新の方針

参加者から多く選択された更新・魅力付加計画

大池公園のさくら更新の基本方針
 大池公園のさくらは樹勢の衰退や枯損の進行が見られるが、この先もさくらの開花を楽しめるよう維持するとともに、新しいサクラの名所としての魅力を付加していく。

- さくら更新における5つの方針
- 1 さくら樹勢回復の為に施肥や支柱枝剪定等簡易な作業を協働実施<方針1>
 - 2 枯死木伐採撤去後忌地を避け土壌改良し新植<方針2>⇒池周りのさくら等
 - 3 土壌改良の後に既存と同一品種新植<方針3>⇒彫刻の広場園路両側の八重桜等
 - 4 まとまった植栽空間の更新<方針4>⇒その場所が名所となるよう品種を選定⇒シンボルツリーも検討する
 - 5 さくらの日常点検により、枯枝や枯死木の発見と処理<方針5>

- さくら更新・魅力付加計画
- 1 公園北東近隣施設や市役所から等、園内回遊の魅力向上のため散策コース沿等枯死木発生時さくらを補植
 - 2 大田大池越しにまとまったさくら景観を創出するため、既存樹木の整理とさくらの新植を行う
 - 3 芝生広場南側、既存ソメイヨシノの間に適正植栽密度に留意し補植、後継木化
 - 4 芝生広場南の池畔の既存ソメイヨシノ老朽木の後に補植
 - 5 展望台付近のエドヒガン・シダレザクラの充実ゾーン
 - 6 既存と同一品種のさくらをまとめて植栽した並木道⇒彫刻の広場園路両側の八重桜並木
 - 7 同一品種のさくらをまとめて植栽し、新たな名所化⇒既存イロハモミジに合わせて十月桜のゾーン
 - 8 既存ウスミザクラを含めて早咲き系の河津桜、トウカイザクラ等を植栽し、公園出入口にふさわしいホスピタリティを演出
 - 9 さくらをまとめて植栽し、新たな名所化(農業センター側)⇒展望の丘の周辺に十月桜・河津桜のゾーン
 - 10 市役所屋上等に公園を鳥瞰できるように定点ライブカメラを設置、リアルタイムに情報提供⇒SNS等様々な情報ツール・媒体による情報発信